



アショカ Ashoka

**Presentation to CAC Conference
August 27th, Tokyo**



About Ashoka

組織

- 1980年設立
- 5大陸、62カ国で活動を開始

業務内容

- 「社会起業」分野の草分け
- 各地域の社会的なニーズに応える社会システム改革案を開発した1700人以上の社会起業家に投資。

投資家

1998 - 2005

- ビジネス起業家 - 64%
- 助成財団、私企業 - 22%
- 個人 - 14%

鍵となる 支持者

- 先導的社会起業家
- 組織的な社会変化に注目するビジネス起業家



社会起業家とは？

- ベンチャー精神をもつ人間：ビジョン、創造性、実用性、継続的貢献を可能にする決断力
- 全セクターに革命をもたらすような潜在力を持ち、社会問題に対して新しい解決策を大胆に創り出せる人
- 例えば：
 - フローレンス・ナイチンゲールは医療部門に革命を起こした。
 - マリーナ・モテソーリは教育部門に変革をもたらした。
 - マホメッド・ユナスはマイクロクレジットの概念を世界に広めた。

“社会問題に対する創造的解決策を模索するのに社会起業家以上に影響力のある職業は存在しない。アショカこそが「社会起業家」という職業を明確に定義した。”

– クレグ・マッカウ

無線・衛星技術の先駆者

厳密な基準をもつアショカフェローの選考過程

新しいアイデア

そのアイデアは既存のアイデアとどこがちがうのか？そのアイデアは本当の革新的な転換をもたらし、社会的な変化を起こすのか？

創造性

その人には将来性と問題解決を可能とする創造力があるのか？また機会と障害に取り組む時、どのように創造力を発揮するのか？

起業家としての資質

その人はどれだけ自分のビジョンに対して情熱を持っているか。そのビジョンが社会の中で新しい変革をもたらすまでその情熱を貫けるか？

社会的影響力

そのプロジェクト(アイデア)は国家レベル或いは大陸の小国規模で変化をもたらす潜在力を持っているのか？果たして何人の人々に影響を与えるのか？

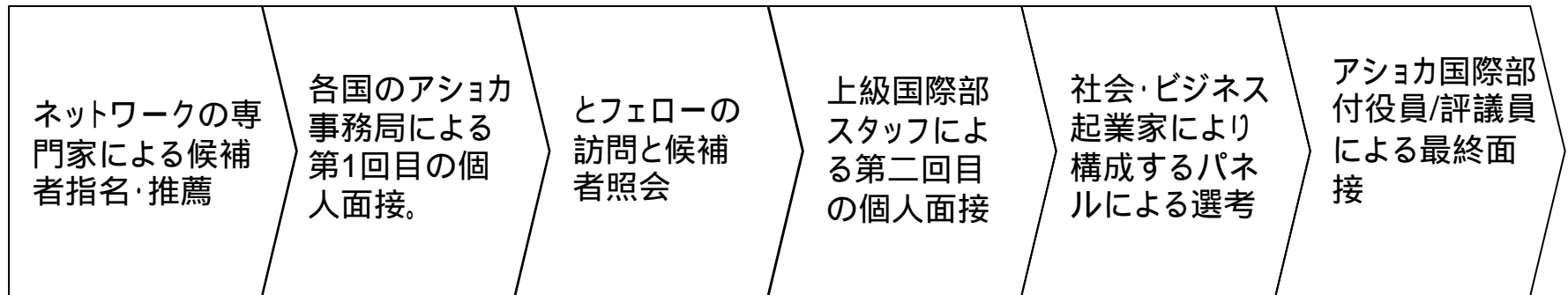
倫理感のある素質

その起業家は誠実で社会的な模範となる人間か？その起業家の動機は「ボランティア精神」に深く根付いているか？



徹底したアショカフェローの選考過程Ashoka's

フェロー探しとその選考過程



The New York Times

“アショカはベンチャー企業投資家のアプローチによって市民セクターを大きく変化させようとしている。このアイディアは変革者を発芽させ、そして彼らにシードマネーを提供し、地球規模のフェローシップに結びつけようとしている。

アショカフェロー： デビット・グリーン



問題提起

アメリカをはじめとし、世界中には何百人の人々、補聴器のような医療機器を手に入れることができない。

デビッドの改革

- “同情的資本主義”のパラダイムを引用し、医療産業の市場の失敗を指摘。経済自続的(自給持続的)且つ社会のあらゆる人々に利用可能な方法(裕福層から低所得者まで同様に)で、製品能力と余剰収入を利用し補聴器を全ての所得層に提供する。

結果

- 他社に比べてわずかの経費で高品質の補聴器を開発。通常の設定価格は1500米ドルのところ、デビットのグループは無償～90米ドルまでの価格範囲での補聴器提供に成功。

ジェロー・ピリモリア-幼児保護システムの開発(インド)



問題提起

- インドの路上に住む無数のストリートチルドレンと呼ばれる子供達は病気や虐待を非常に受け易い状況にいる。
- 現在のインドの社会ネットでは対処しきれない(子供達の)危機的状況の仲裁、またそれに対する長期的解決法が必要とされている。

ジェローの改革

- ストリートチルドレンを対象とした24時間無料の電話ホットラインの開設。
- ホットラインのスタッフはストリートチルドレンによって構成。
- フランチャイズモデルとして(他地域への)拡大を促した。

Results

- インド全土で60以上の都市でこのサービスが提供されていて、まだ増えつづけている。
- 毎年150万人以上の電話が対応されている。
- インド全土のサービス機関はよりよく機能するようになった。
- 子供に対する社会的な対処(取り組み方)が変化した。社会一般が、子供に対して、無視・搾取の対象から(子供の)権利に関する知識や適切な支援をする立場へと変わった。



インドシナ沖地震(津波)でのアショカ援助

(津波以前の)アショカフェロー達の仕事:

- 民事の揉めごとで住居を失った人々の世話
- 災害時に対する準備
- ボランティア者の活用作業
- 少数民族の統合

フェローの協力体制

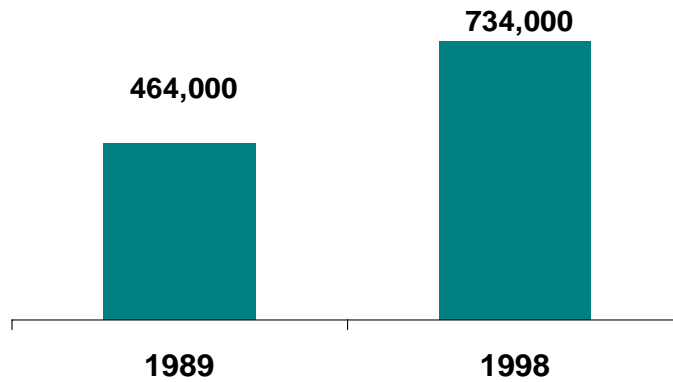
東南アジア全域の沿岸コミュニティは不安定さ(経済、自然、災害、市民対立)を露呈する高い危険をもっている

これらコミュニティを支援し、自立を促さなくてはならない。それは以下の保証を確保するためである。

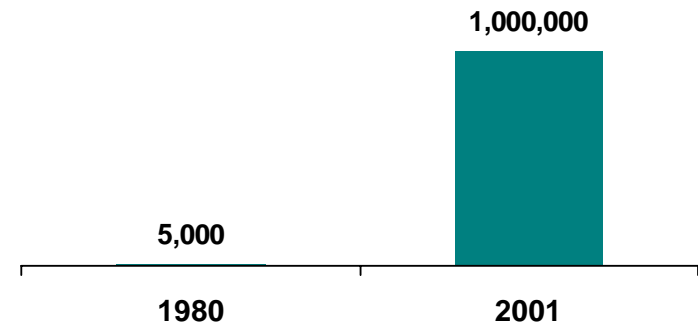
- 市民権の保証
- 土地所有権の保証
- 経済的自立の保証

市民セクターの世界的発展

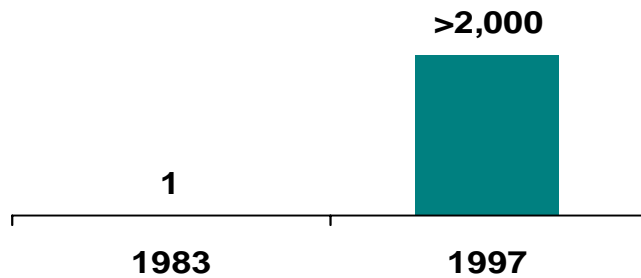
市民団体-アメリカ



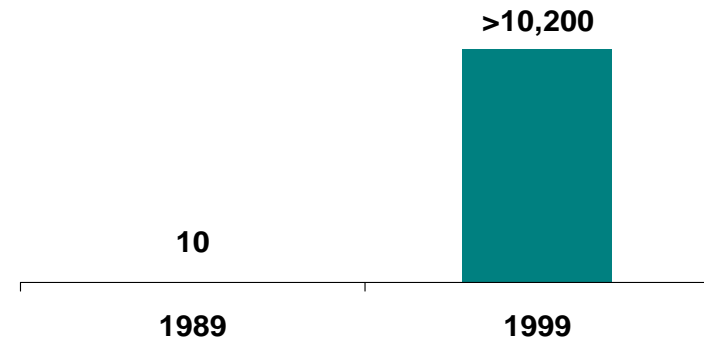
市民団体- ブラジル



環境系組織 - インドネシア



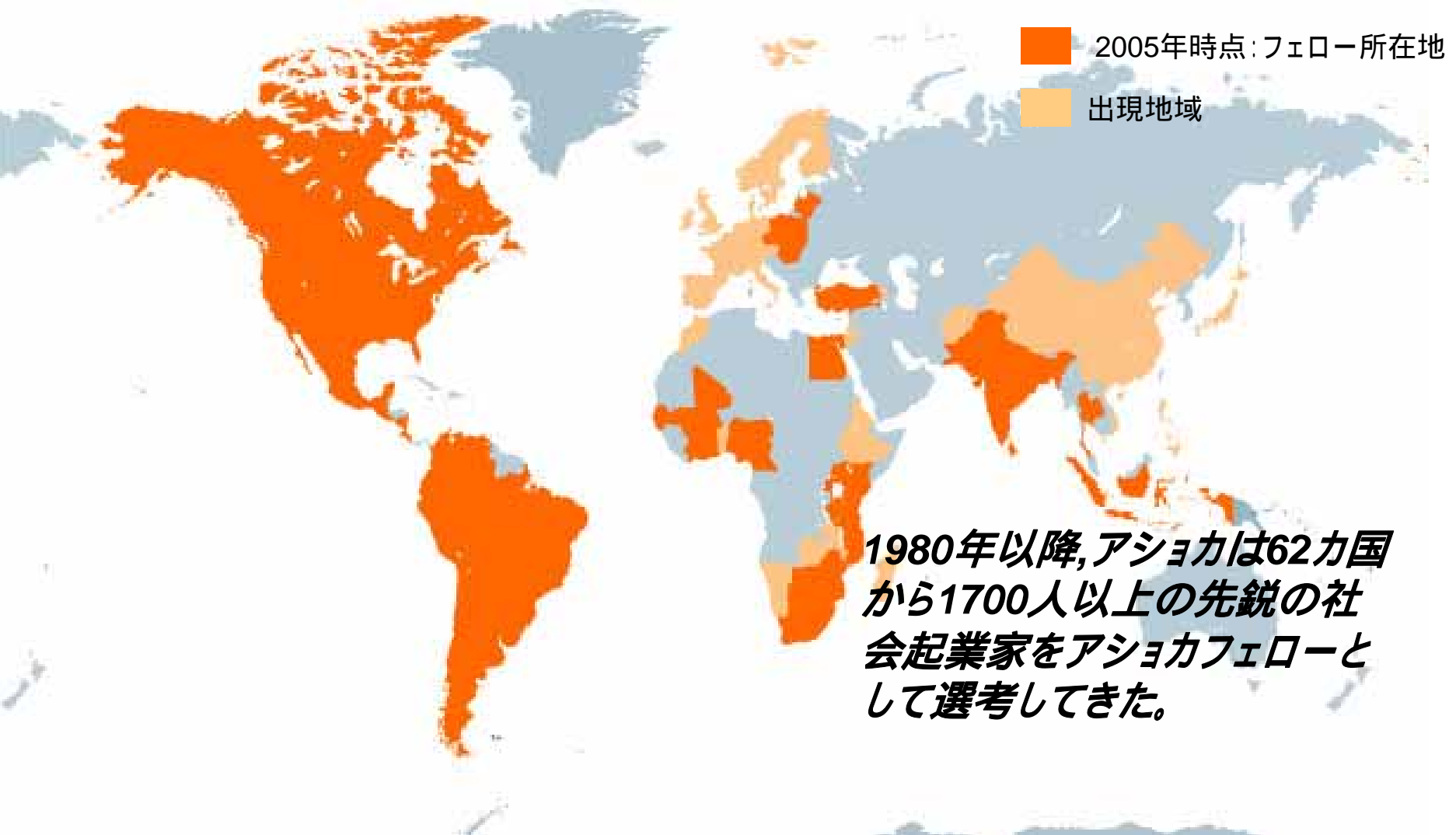
市民団体 - スロバキア



* IRS registered 501 (c) (3)'s only

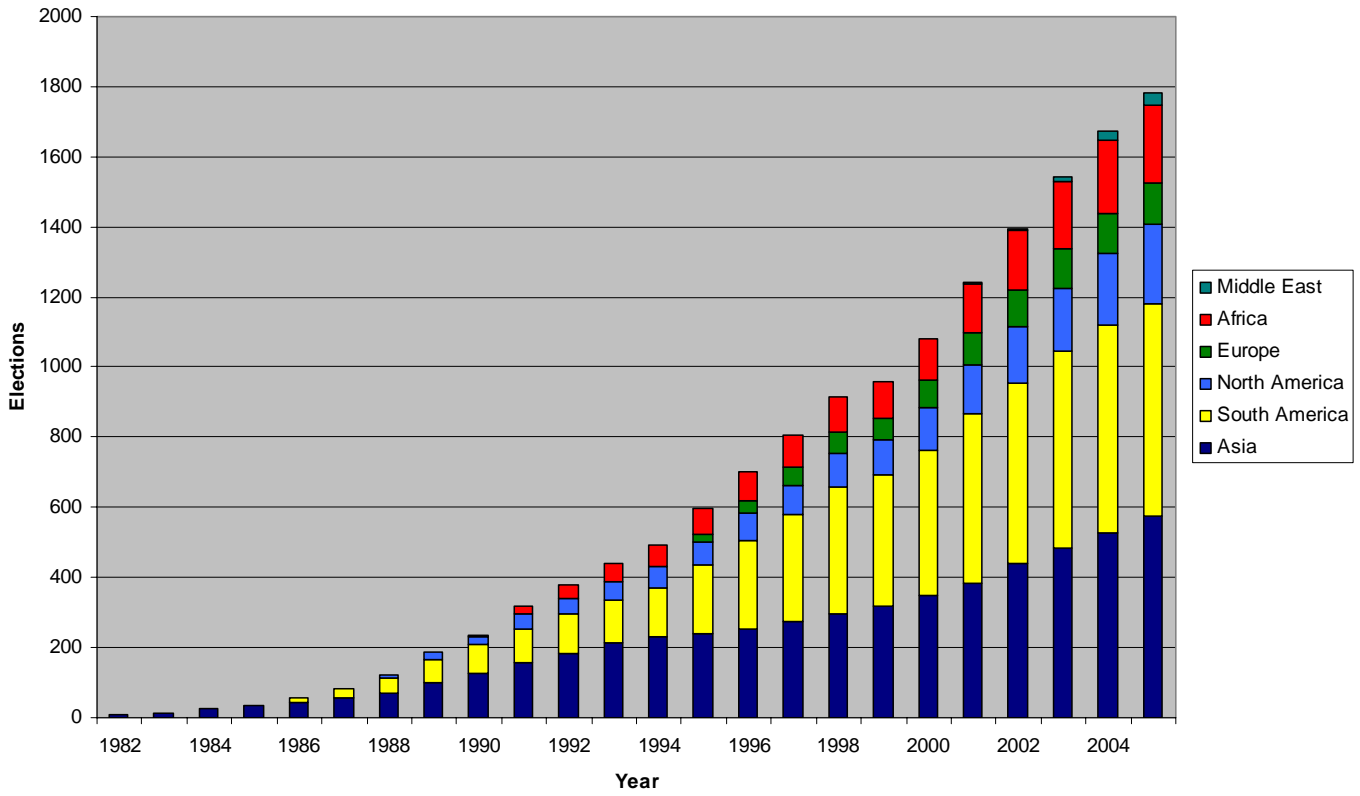
Sources: Urban Institute, Ministry of Economics (Brazil), Walhi (Indonesia)

アショカの勢力地域





Cumulative Fellow Elections by Region



アショカの目標：競争的市民セクターの決定的特徴を透明化する

アショカは生産力、起業力のある社会セクターを形づくるために、社会起業家支援の要となる3つのアプローチを開発した

社会起業家

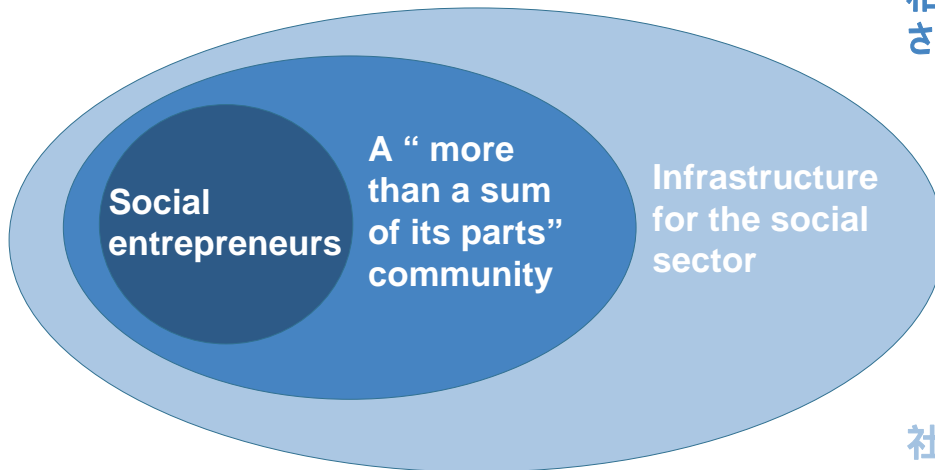
- アショカは社会起業家に投資をし、個人、アイデア、組織を一貫して支援する。

相乗効果が発揮されるコミュニティ

- アショカは社会起業家が社会変化を成功させさせるための「変化の行動様式」を以下のように定義する。
 - 学習
 - 経済開発
 - 環境
 - 法律 / 人権
 - 保健

社会セクターのインフラ整備

- アショカは社会システムの開発を促し、生産的な社会セクターの必要とされるものを支援する。そしてビジネスと社会セクターの掛け橋となる。





ASHOKA

アショカフェローが地球規模の市民セクターの創造を先導している



貧困撲滅にかかわる社会起業家(アショカの投資から5年後)

- 持続性:** 97%のフェローがアショカ選考後、一貫して同じアイデア・社会問題のために活動している。
- 政策転換:** 49% のフェローが国家政策に影響を及ぼした。
- アイデアの普及:** 71% のフェローが活躍する分野において先駆者とみなされている。
- 影響:** 77%のフェローは選考時のアイデアを支援する組織(団体)を設立している。